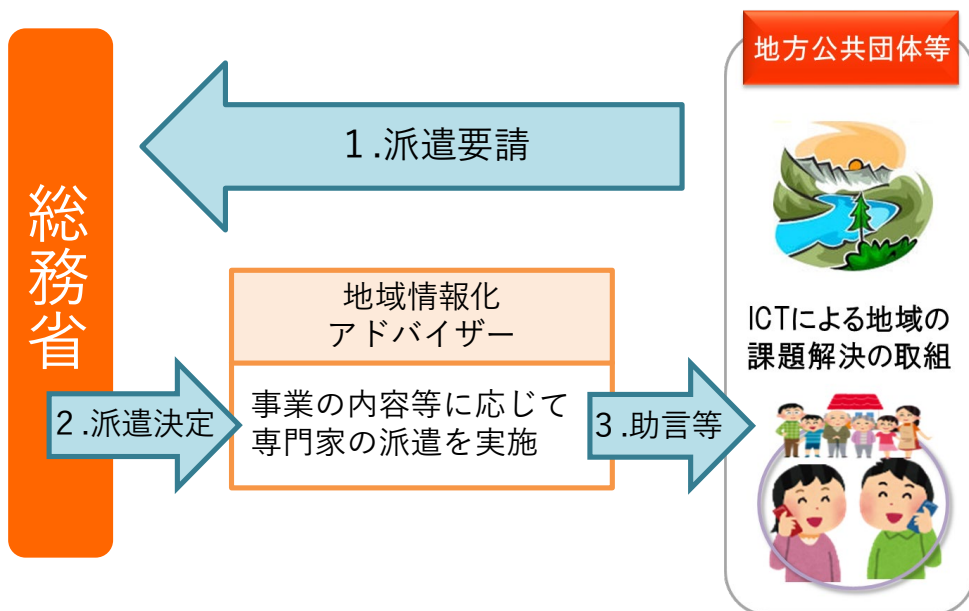
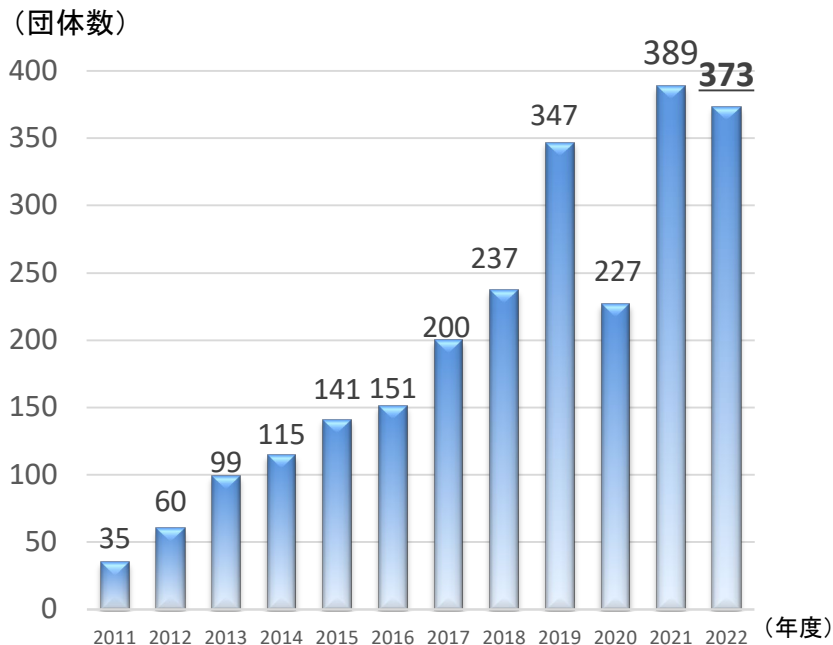


- 地域が抱える様々な課題を解決するため、ICTを利活用した取組を検討する地方公共団体等からの求めに応じ、ICTの知見等を有する「地域情報化アドバイザー」を派遣し、ICT利活用に関する助言等を行う。
- 先進自治体職員、大学教員、CivicTech等の有識者にアドバイザーを委嘱。
- 現地派遣は年間3回まで、**オンライン会議による支援であれば合計10時間**の範囲内において、支援が可能。
- 事業の内容に応じて、複数人のアドバイザーによるチーム型の支援を実施。

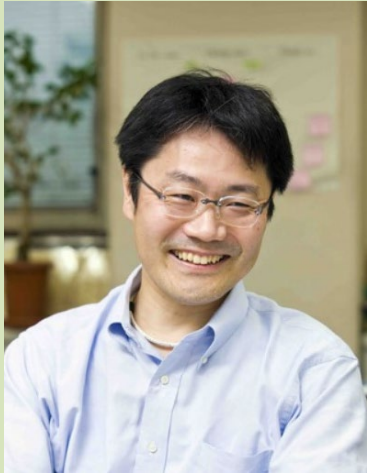
派遣の仕組み



派遣団体数



地域情報化アドバイザーリーダー 川島 宏一氏より



地域情報化アドバイザーリーダー
筑波大学 川島教授

(地域情報化アドバイザーの必要性について)

自治体内部で苦しんでいる職員に対して、外から行って、その方々の活動の範囲を広げてあげるとするのが、一番効果的。ある程度国全体の動きがわかっている人でないと、自信を持ってその組織全体を動かすインパクトが与えられない。

自治体には縦割りの中で埋もれている貴重な人材がいる。僕はこの制度の、外部からのインパクトが、すごく大きいと思う。フラストレーションをためて頑張っている人たちが、アドバイザーの加勢を得て、より生き生きと活動し出すということがある。

外から行って、ガツンと講演すると、少し変わる。ジワリジワリと効いてくる。アドバイザーという外力を使って中を変える、という感じで使ってもらえるといい。

ICTを使って「何かしたい、何かしなくては」という意識を、
「まず、やってみる！」に変えるきっかけとして、
ぜひ地域情報化アドバイザーをご活用ください。



令和4年度の派遣傾向（分野別）

分野	派遣数
人材（DX推進のための機運の醸成）	137
人材（DXに関する知識習得・研修・育成）	134
オープンデータ	53
自治体システムの標準化・共通化	47
計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等）	42
行政手続オンライン化	40
その他	36
教育情報化／情報教育	31
EBPM	28
デジタルアーカイブ／図書館	27
スマートシティ	27
地域ビジネス	24
RPA導入	22
人材（外部人材活用）	20
働き方	20
デジタルデバйд対策	20
ICT活用広報	19
マイナンバー	17
農林水産業	16
観光	16
テレワーク	16
自治体セキュリティ	16
自治体システム調達/地域情報プラットフォーム	16
ネットワークインフラ（Wi-Fi/LPWA/光ネットワーク）	15
シェアリングエコノミー	13
医療・介護・健康	12
AI活用	11
5G	10
スタートアップ支援（起業支援）	7
防災	6
子育て	3
マイキープラットフォーム	3
個人情報保護	2

令和4年度の派遣傾向（都道府県別）

都道府県	R4	R3	R2	R1
北海道	19	22	13	20
青森県	2	1	4	3
岩手県	4	6	6	9
宮城県	5	5	2	5
秋田県	5	6	5	6
山形県	2	3	2	6
福島県	7	4	1	5
茨城県	10	13	4	6
栃木県	7	4	2	3
群馬県	6	9	6	3
埼玉県	18	19	6	4
千葉県	6	11	4	6
東京都	22	14	10	10
神奈川県	7	8	2	9
新潟県	6	5	6	8
富山県	6	10	2	3
石川県	4	5	2	1
福井県	4	6	1	2
山梨県	3	2	0	1
長野県	14	4	9	10
岐阜県	7	9	7	7
静岡県	16	16	8	13
愛知県	20	28	11	28
三重県	4	3	4	6

滋賀県	7	8	3	5
京都府	8	10	5	11
大阪府	14	13	12	14
兵庫県	12	12	11	12
奈良県	8	6	4	8
和歌山県	0	1	1	3
鳥取県	3	3	3	7
島根県	8	7	4	6
岡山県	8	5	2	8
広島県	9	6	6	7
山口県	3	2	5	6
徳島県	10	12	9	7
香川県	3	6	3	2
愛媛県	5	3	4	7
高知県	4	10	6	5
福岡県	15	19	6	10
佐賀県	9	4	2	4
長崎県	3	6	4	3
熊本県	15	10	5	16
大分県	3	5	1	2
宮崎県	7	8	3	10
鹿児島県	7	12	7	14
沖縄県	8	8	4	6
合計	373	389	227	347

16~
11~15
6~10
1~5
0

アドバイザー派遣の原則的なパターン

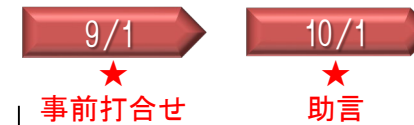
1日のみ、2日連続又は3日連続のいずれか



同一団体に対するアドバイザーの派遣は連続する3日間を限度とする。
実働時間は1日当たり7時間までとする。

事前の打合せやフォローアップを行うパターン

例1 一回目:事前打合せ 二回目:支援・助言



連続していない2日

例2 一回目:支援・助言 二回目:フォローアップ



連続していない3日

例3 一回目:事前打合せ 二回目:支援・助言 三回目:フォローアップ



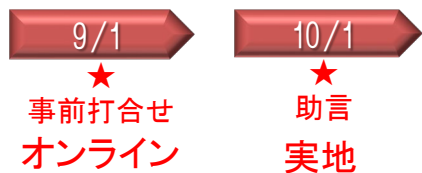
連続していない3日

案件の特性に応じて、事前打合せまたはフォローアップ等を目的とした連続しない日程の派遣も可能とする。(1日当たり7時間まで、合計日数は3日まで。)

※事前打合せやフォローアップを目的とした派遣については、**オンラインの活用を積極的に検討すること。**
(次ページ「派遣オンライン+実地への派遣を行うパターン」参照)

オンライン+実地への派遣を行うパターン

例1



例2



1日あたり7時間まで、合計日数は派遣と併せて3日までで。

メールや電話は認めない。オンライン会議(Skype等)のみ認める。助言時間がわかる証拠書類を添付すること。

オンラインのみにより支援を行うパターン

例1



例2



日数上限なく合計10時間まで(1日あたり7時間まで)。